

ARIDA

ありだ市議会だより

有田市



2026年
8月発行
第94号



まちの未来へ
全力プッシュ



本会議録画映像
配信中！



令和8年6月定例会 主な議案について

議案第35号 有田市スポーツ振興基金条例

【制定理由】

スポーツ活動の推進や施設整備などに要する経費の財源を確保するため。



議案第36号 令和8年度 有田市一般会計補正予算（第1号）

一般会計補正予算額

2,931万7千円を増額

＜主な事業＞

1. 地域ブランド推進事業

196万4千円

【目的】市制施行70周年を記念した地域の魅力発信。

2. 防火啓発推進事業

52万7千円

【目的】宝くじの社会貢献広報事業（コミュニティ助成）を活用した防火啓発の推進。

3. 生涯スポーツ振興事業

1,000万円

【目的】新設予定の「有田市スポーツ振興基金」への積立。



6月定例会

「 議案審議結果表 」

議案番号	件 名	議決年月日	可否
議案第31号	専決処分の承認を求めることについて（有田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	8.6.25	承認
議案第32号	専決処分の承認を求めることについて（有田市税条例の一部を改正する条例）	//	承認
議案第33号	有田市監査委員条例等の一部を改正する条例	//	可決
議案第34号	有田市印鑑条例の一部を改正する条例	//	可決
議案第35号	有田市スポーツ振興基金条例	//	可決
議案第36号	令和8年度有田市一般会計補正予算（第1号）	//	可決
議案第37号	令和8年度有田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	//	可決
議案第38号	工事請負契約について	//	可決
議案第39号	教育委員会の委員の任命について	//	同意
議案第40～53号	農業委員会の委員の任命について	//	同意
議案第54号	初島財産区管理委員の選任について	//	同意
報 第 2 号	令和7年度有田市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	8.6.5	報告
報 第 3 号	令和7年度有田市上水道事業会計予算繰越計算書の報告について	//	報告
報 第 4 号	令和7年度有田市立病院事業会計予算繰越計算書の報告について	//	報告
報 第 5 号	専決処分の報告について（市有地の譲渡について）	//	報告
報 第 6 号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	//	報告
-----	議員派遣の件について	8.6.25	可決

「一般質問」

一般質問通告一覧表 (令和8年6月16日・17日)

順位	氏名 【会派名】	発言の要旨
1	花野仁志 【有志会】	1. 部活動の地域展開について (1) 部活動の地域移行の進捗状況 ①指導者の確保 ②財源の負担 ③事故、体罰への対応 (2) 部活動遠征の移動について
2	一ノ瀬敦子 【仁政会】	1. 保育給食における食育の推進 (1) 取組状況並びにオーガニック食材の活用と食育の充実について 2. 終活支援と人生会議（ACP）の推進 (1) エンディングノートの活用と人生会議（ACP）の取組について
3	福永広次 【友和クラブ】	1. 市立病院の東棟の再利用と跡地について (1) 市長のお考えを伺う 2. 有田市立病院の加齢黄斑変性症の治療について (1) 硝子体内注射治療の令和7年度からの実績について
4	中西登志明 【政有会】	1. 地域の活性化について (1) 各駅を活用した地域活性 (2) 有田みかん海道を活用した地域活性 2. 災害ボランティアについて (1) 災害ボランティアセンターの立上げ
5	脇村隆生 【未来共創】	1. 雨水タンクについて (1) 公平性について (2) 効果の測り方 (3) 運用について
6	川島 強 【有志会】	1. 子どもの視力について (1) 新聞に「子どもの視力を守るには」という記事について (2) 視力低下・近視の原因について
7	岡田行弘 【公明党】	1. 本市の自主財源確保に向けた取り組みについて (1) ネーミングライツ（施設命名権）の導入と推進 (2) ふるさと応援寄附金のさらなる戦略的展開 2. 公共施設における災害時の安全確保について (1) エレベーター内における非常時の閉じ込め対策 (2) 防災対応型チェア（キャビネット）の導入
8	嶋田 英 【未来共創】	1. 定住促進とまちづくりについて (1) 公共施設再編に伴う跡地活用について (2) 新市立病院整備を見据えた市有地活用について (3) Marry You 施策の現状と今後の方向性について
9	成川 満 【政有会】	1. 道路の整備について (1) 国道42号有田海南道路 (2) 都市計画道路 (3) 箕島・かもめ通りの通行規制

9名が独自視点で質問・提言！



動画をご覧になれます



志 野 花 比 志

【有志会】



部活動の地域展開

質 (1)部活動の地域展開の進捗状況
①指導者の確保について

②財源の負担について
③事故、体罰への対応について
以上の3項目についてその後の進捗状況をお聞かせ願いたい。

答 ①地域の方々にも指導者としてご登録いただき、活動を展開したところ。

②受益者負担と公費負担の最適なバランスについて検討を重ねていく。

③国および県のガイドラインを参考に、有田市における地域展開の方針を策定中。

再質 遠征費など負担軽減は切実。大変むずかしい問題でもある

が、値段の低さではなく、そこには安全面が担保されているかという視点を重視することを望みます。

答 何よりもまずは生徒の安全が第一と考えています。

部活動遠征の移動について

質 部活動の移動手段に関するガイドラインは策定しているのか。当市の考えをお聞かせ願いたい。

答 現在のところ策定は行っておりませんが、今後とも、国や県の動向を注視しつつ、現場の実態に即した安全管理の徹底に努めていく。

再質 「校外活動中の事故対応」も大切と思うが、事故につながらないための最大限の基準やガイドラインの策定をお願いしたい。

答 ガイドラインの策定も視野に入れ、柔軟かつ速やかに対応を講じていく。

要望 子供たちは未来をになう宝です。

命を守るために、事故につながらないため事前の基準やガイドラインの策定を最大限お願いしたい。



子 敦 瀬 一 乃

【仁政会】



保育給食における食育の推進

質 現在の保育給食における地産地消や食育の取り組み状況について。

答 地産地消を推進し、地域食材を活用した給食を提供しています。野菜栽培・収穫体験を通じ、食のプロセスを肌で感じることで、子供たちの豊かな感性と心を育む食育を実践しています。

質 オーガニック野菜や有機農産物を使用し、導入が大変難しいと判断している主な理由は？

答 供給体制の確立、調達コストの増加、調理現場の負荷増という三つの課題があり、全てを解決して安定的に提供することは極めて困難と判断しています。

提言 保育所の一部をモデル園として、有機米や減農薬米、導入しやすい野菜などを活用した「オーガニック・デイ」や「環境にやさしい給食の日」を試験的に実施し、将来的な目標や計画策定を提言します。

終活支援と

人生会議（ACP）の推進

質 終活や人生会議をどのように捉え、市民への周知・啓発をどのように取り組んでいるのか。

答 終活や人生会議とは、人生の最終段階に備え、自分の意思を再確認し、周囲の方と共有することと考え、終活に関する講演会や「もしもいふ」の配布など、様々な機会を捉え周知・啓発に取り組んでいる。

提言 「もしもいふ」は、医療や介護の希望、緊急連絡先、大切な人への思いなどを記録できる取り組みです。多くの市民に活用していただけるよう、人生会議の考え方とあわせて周知・啓発を進めていただきたい。





福永 広次

【友和クラブ】



市立病院の東棟の

再利用と跡地について

質 市立病院の、東棟の再利用と跡地の活用について、市長のお考えを伺いたい。

答 他の公共施設に改修する場合には、現在の建築基準法等に、適合させる必要があるため、適切な時期に解体することが必要と考えています。一方で、民間活力を活用し、市の財政負担を最小限にした、活用を行うことも必要と考えています。

まとめ できるだけ早い時期に解体し、更地にして、人口増加につながるような民間の活力を活かした施策をとっていただくよう、願います。箕島保育所はすでに、閉所で宮崎町保育所も、令和8年度末で閉所も決まり、古江見保育所も古く、この跡地にこども園の建設を強く要望します。

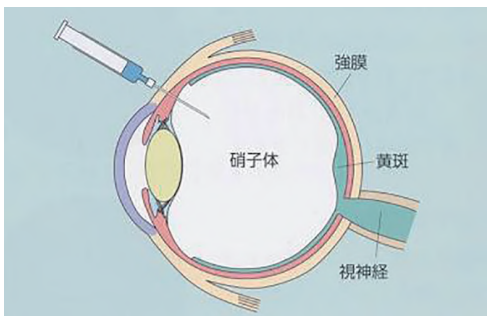
有田市立病院の加齢黄斑変性症の

治療について

質 有田市立病院の加齢黄斑変性症の硝子体内注射治療の、実績を聞かせてください。

答 治療については遠方まで、行かなければならず、患者・家族とも大きな負担になっており、早期に市立病院で実施できるよう、令和5年3月と9月に福永議員からご提言をいただき、市立病院としても、治療を実施するため、県立医大の協力を得て、令和7年7月から、硝子体内注射治療を開始しました。治療実績について、令和7年度合計件数は24件で令和8年度においては、4月は2件、5月は5件です。

まとめ 患者や家族の皆様が大変喜んでいきます。県立医大の岡田教授や関係者の皆様に感謝申し上げます。



各駅を活用した地域活性



中西 登志明

【政有会】



質 箕島・初島・紀伊宮原の各駅で、環境整備や情報発信、跡地活用等、JR西日本と地域住民の話し合いについて。

答 各駅で、展示整備や跡地活用、周辺まちづくりについてJR西日本や地域と協議を進め、魅力向上と環境改善に取り組みます。

再質 各駅で人の常駐体制の検討等、駅を地域資源とするため、箕島駅での『おもてなしセンター設置』、駅名変更、外観演出、紀伊宮原駅での常駐拠点整備、初島駅跡地の郵便局移設案について。

答 活用方針として、展示整備や案内機能の強化、跡地活用の協議を進め駅名変更や常駐体制は費用等、検討し慎重に対応して行きます。

有田みかん海道を活用した

地域活性

質 有田みかん海道周辺の発展を踏まえ、矢櫃・女ノ浦地区の環境整備と観光拠点機能の強化に向けた市の今後の取組みについて。

答 受入環境の新規整備は費用面から慎重だが、既存ストックを生かすために関係者と意見交換を行い、賑わいを広げる仕組みづくりに取り組みます。

災害ボランティアセンター

立上げについて

質 災害ボランティアセンター立上げについて。

答 設置場所・判断基準・資機材・経費負担・平時連携の5点を9月末までに社会福祉協議会とまとめ、センター設置体制の強化に取り組みます。

要望 地域の活性化・災害ボランティアへの取組は、この町の価値を高めること、日々の工夫と小さな改善の積み重ねが重要。



【やるやんみのしまストリート2026の様子】



協 村 隆 生

【未来共創】



雨水タンク設置

補助金事業について

質 現在の制度設計の矛盾について質問を行った。雨水タンクの性質上、

設置が分散すると排水路への流出抑制効果が得られない。少ない予算にもかかわらず全域を対象に補助金を出すことは、効果を得られないリスクを伴う。一方で説明会を一部地域に絞ることは公平性を欠く。この「実利」と「公平性」が潰し合う現状を危惧し、浸水リスクの高い地域への重点評価やモデル地域を定めるべきではないか尋ねた。

答 市内全体への広報により公平性は保たれているとしつつ、設置の分散による効果検証の難しさは認めた。

対策として過去に被害のあった高山川流域へ重点的な啓発を行っていると言明。数値による効果判定は難しいものの、豪雨初期の流量を抑えるピークカット効果や設置者への体感ヒアリングを重視し、前日の水抜き案内等を行いながら、現行制度のまま普及に努める方針を示した。



提言

本事業を安価でスピード感のある対策として評価し、ハード整備との併用に期待を寄せた。その上で、予算が限られる中での重点地域の設定や、数値化が難しい効果検証を補うためにも、市民の満足度やメリットをしっかりと把握した上で次年度の事業拡大に繋げるよう要望した。



川 島 強

【有志会】



子どもの視力について

質 「子どもの視力を守るには」という新聞記事で、文部科学省が公表した視力1・0未満の調査結果から、子どもの視力低下や近視の進行が10年前と比べ増加していることがわかった。有

田市の小中学生の視力検査結果と全国との比較はどの程度か。

答 児童生徒の視力の低下は全国的な傾向であり、本市においても重要な課題であると認識。令和8年4月に実施した視力検査の結果、視力1・0未満の児童生徒の割合は、小学生36・41%、中学生51・87%。全国との比較は、小学生は0・34ポイント上回り、中学生は7・48ポイント下回る結果となった。

質 タブレット授業の利用時間は、1日あたり何時間か。また、視力低下に係る教育委員会や学校での対策は、

答 授業におけるタブレット端末の使用時間は学習形態により異なるため、時間の管理や集計は行っていない。教育委員会では、児童生徒および保護者に「タブレット端末利用ガイドライ

ン」を配布、各校では「保健だより」などを活用し、各家庭でタブレット端末やスマートフォンを利用する際の約束事や、長時間使用した際に見られる健康上の影響について具体的な啓発活動を行っている。

まとめ 大手メガネチェーン店による出前授業なども行われており、こういった啓発活動も取り組んでいただくよう要望する。





おかだ ゆきひろ
岡田 行弘

【公明党】



防災対応型チェアの導入

質 日常にも緊急時にも役立つ「防災対応型チェア」を、早急に本市の公共施設へ設置すべきと考えますが。

答 非常時には勿論のこと平常時にも利用できますので、比較的高層階で、高齢者の方や障害のある方、妊婦の方などが日常的に利用される施設のエレベーターには設置してまいりたいと考えています。



ふるさと応援寄附金の

さらなる戦略的展開

質 令和7年度は寄附額が約34億円まで落ち込んでいます。

本市は、今後どのように取り組んでいく方針か。

答 今年度、ポータルサイトの運用業務を事業者と委託契約しており、寄附額向上に向けて、業務を推進しています。

本市、主力のみかんを重点返礼品にも注力し、リピーター及び新規獲得に向けた取り組み、写真画像の刷新等を実施し、新たな事業者や返礼品も開拓しながら、寄附者に選ばれる情報発信を行ってまいります。

寄附金額(円) 有田市	
R3年度	48億9178万1018
R4年度	49億0937万9551
R5年度	42億8519万3200
R6年度	42億2556万5250
R7年度	33億5202万1400

ネーミングライツ(施設命名権)の導入と推進

提言 本市の厳しい財政状況や公共施設の維持管理、そして市民サービスの質を維持していくためには、一刻も早い新たな自主財源の確保が、急務である。本市に眠る多様な資産の可能性を、部局横断で今一度徹底的に洗い出し、有田市独自の民間活力導入モデルを構築すること。



しまだ しょうた
嶋田 英

【未来共創】



公共施設再編に伴う

跡地活用について

質 宮原保育所・公民館跡地は、民間活用も含めどう進めるのか。

答 若者定住につながる活用を含め、令和9年度に方向性を示す。

新市立病院整備を見据えた

市有地活用について

質 新市立病院南側の市有地について、病院・体育館利用者や地域住民の利便性向上に向け、どう活用するのか。

答 新たな人流が見込まれ、地域の利便性向上や活性化が期待できる土地。商業・サービス機能も含め検討し、令和8年11月末の現場事務所撤去予定のため、早期に

具体策を示す。

提言 撤去後に考えるのではなく、開院までに条件整理と地元説明を進めるべき。



Marry You 施策の現状と

今後の方向性について

質 生後0〜6か月の一時預かりについて、保育所での対応が難しい中、民間活用や費用面の支援も含め、どう支えていくのか。

答 支援の必要性は認識しており、助産院など民間資源を活用しながら、利用状況やニーズを把握し、必要な方へつなげていく。

提言 費用面で利用しにくいという声もある。保護者や民間事業者の声を聞き、本当に必要な支援に届く仕組みを検討すべき。



質 Marry You 施策の利用者に転出もある中、制度が本当に定住につながっているのかをどう検証し、人口減少対策に活かすのか。

答 多くの利用者は制度を満足いただいているが、施策をブラッシュアップしながら、総合的に定住促進を進める。



なり 成川 みつ 満

【政有会】



道路の整備について

質 現在の有田海南道路の進捗状況、完成見込、総事業費の見込額についてお聞かせください。

答 まず進捗状況ですが、有田市域では、有田サンブリッジから1号トンネルへ続く2号橋について、橋台1基、橋脚2基の工事が進められており、有田川側からの4径間の上部工事が令和8年8月から現地着手の予定です。令和6年2月鯉川地区から掘削中の1号トンネルは、全長1,546mの内、令和8年5月末で1,360mを掘削済みです。

続きまして、総事業費の見込額ですが、現在約784億円となっています。昨今の情勢での、人件費・建設資材等の高騰などがあり、現在まで約579億円を事業実施しています。完成見込みにつきましては、公表されておりません。



質

国道480号通称箕島かもめ通り
の一部で、現在、片側通行規制が行われております。

この通行規制に至る経過と今後の見通しについてお聞かせください。

答

令和7年2月1日から片側交互通行となっており、県の調査により、護岸の洗掘が確認され、洗掘部分に袋詰め玉石の設置する応急対策を行っております。

令和8年4月に本工事の業者が決定し、令和8年6月より現場作業に着手しており、11月中の完成を目指しています。

有田市議会 YouTube チャンネル

有田市議会をもっと身近に。YouTube で本会議を配信しています！

有田市議会では、市民のみなさまに議会活動をより分かりやすくお届けするため、YouTube で本会議の様子を配信しています。

市政の課題、議員の質疑、まちづくりの議論など、普段なかなか見る機会のない議会の様子を、ぜひご自宅やスマートフォンからご覧ください。



有田市議会

検索



行政視察

文教厚生経済委員会

5月18日・19日に文教厚生経済委員会の行政視察を行いました。

佐賀県多久市

多久市では、社会福祉協議会が運営する生活自立支援センターを中心に、生活困窮者への相談支援や就労支援を実施している。また、「暮らしのお助け連絡帳」を全戸配布し、相談窓口や生活支援サービスを分かりやすく周知していた。さらに、住民主体の生活支援や送迎支援など、地域全体で高齢者を支える仕組みづくりが進められていた。

提言

今後は、相談窓口や支援制度の周知強化に加え、地域住民や関係機関が連携した見守り・支援体制をさらに充実させ、誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進していく必要があると考えます。

福岡県高取保育園

高取保育園では、開園当初から玄米和食を中心とした完全給食を実践し、無農薬・低農薬野菜や無添加調味料を使用した食育に力を入れていた。また、味噌づくりや稲づくりなどの体験活動を通じて、食や自然への感謝の心を育む保育が行われていた。さらに、食器洗いや雑巾掛けなどを日常保育に取り入れ、生活習慣の定着や自主性の育成にも取り組んでいた。

提言

有田市においても、地元産食材の活用や農業・調理体験の充実を図り、食育を生活習慣の形成や自主性の育成につなげる取り組みを推進するよう提言いたします。

福岡県宗像市

宗像市では、学校部活動を段階的に地域クラブ活動へ移行する取り組みを進めており、令和5年9月から休日の部活動を地域へ移行、令和6年9月からは平日の休養日についても地域移行を開始している。さらに、令和9年8月までの完全移行を目標として計画的に取り組んでいる。

地域クラブでは、民間事業者や地域指導者、教員OBなどが指導に携わり、教員も兼業・兼職制度を活用して参加できる仕組みが整備されている。また、モデルクラブを立ち上げながら実践を重ね、課題の検証と改善を進めていた。一方で、活動費（参加費）の負担、活動場所への移動手段、平日の指導者確保などが大きな課題として挙げられていた。

提言

有田市においても地域移行の取り組みが進められていますが、指導者の確保、送迎体制の整備、保護者の費用負担などの課題への対応が不可欠です。今後は地域・学校・行政が連携し、有田市の実情に合った持続可能な地域クラブ活動の仕組みづくりを進めるとともに、必要な人的・財政的支援を充実させることを強く求めます。



農業委員会・農地利用最適化推進委員との 意見交換会を開催



令和8年4月10日、有田市議会総務建設委員会は、農業委員および農地利用最適化推進委員の皆様をお迎えし、有田市の農業が直面する課題や今後の発展に向けた意見交換会を開催しました。

1. 激甚化する異常気象への対応

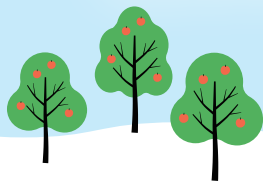
近年、温暖化による開花の早まりや秋口の着色遅れ、日焼け果、カメムシなど病害虫の大発生など、栽培面への影響が深刻化しているとの意見がありました。また、3年前の線状降水帯のような大雨に備えることが必要であるとの認識を深めました。

2. 物価高騰と農業経営

原油価格の高騰や物価上昇にともない、肥料・農薬、燃料、ビニールなどの各種資材価格が大幅に値上がりし、農家経営を直撃しており、生産コストが大きく跳ね上がっている一方で、そのコストをミカンの販売価格にそのまま転嫁することは極めて難しいという厳しい現状が語られ、市による継続的な実態把握と実効性のある支援を求める意見が交わされました。



これからの有田市の 農業の発展に向けて



3. 世界農業遺産「石積み階段園」の継承とPR

2025年8月に認定された伝統の石積み技術について、大雨で石積みが崩落した際の修復を担う熟練者が減少している課題が浮き彫りになりました。技術継承のための「石積み保存会」のような組織づくりや、研修会の必要性が提案されたほか、ロゴマークの活用、看板による産地PRなどの意見が交わされました。

4. スマート農業への期待

作業省力化に向け、市の独自補助金を活用したドローンによる農薬散布が広がっており、約40%の経費節減が見込まれることや酷暑の作業労力の軽減につながるなどの意見がありました。

5. 有田みかん農家の現状と課題、及び新規就農・人手不足解消に向けて

高齢化と後継者問題として農家の平均年齢は68歳。後継者の割合は令和元年の19%から令和5年度には27%へと上昇傾向にあります。移住者やUターン等の若者が地域に根づく事例も増えていることもわかりました。

そういった若者が新規就農しており、農業用倉庫の確保が大切であるとの意見がありました。

しかしながら、農家にとっては、依然として繁忙期の労働力不足が大きな課題となっているなかで、課題の解決策として、働きやすいフリータイム制の導入や、障害者の方と連携する「農福連携」などを取り入れていくことにより、人手不足と賃金向上を両立するモデル化の意見が交わされました。

また、女性や季節労働者が働きやすい環境づくりのため、防災トイレの活用や、トイレの設置なども提案されました。

⑤ 結びに

今回の意見交換会では、450年以上続く有田みかんの歴史を守りながら、時代に即した変革に挑む現場の生の声が多数寄せられました。市議会としては、これらの課題やアイデアを真摯に受け止め、行政と連携しながら有田市の基幹産業であるみかん農業の発展を全力でサポートしてまいります。



地域の力★ 輝くスポーツの輪

ありだ市議会だより

Number

94

2026・8・1

発行

紹介

有田市の少年野球クラブ



各チームでは、野球の技術向上はもちろん、仲間と協力する姿勢や礼儀を大切にしながら、明るく前向きに練習へ取り組んでいます。

有田市の少年野球クラブは、子どもたちがスポーツを通じて心身ともに成長できる、地域に根ざした大切な活動として、これからも元気いっぱいに続けていきます。

紹介

歴史ある更生館道場



更生館道場は、地域の子どもたちが柔道を通じて礼儀・体力・協調性を身につけることを目的として活動しています。基礎から丁寧に指導し、初心者でも安心して参加できる環境を整えています。

次回の定例会は9月に開会予定です。

皆様の議会傍聴をお待ちしております！

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。(☎ 83-2443)

議会だより広報編集委員会

委員長：嶋田 英 副委員長：武田豊治

委員：岡田行弘・一ノ瀬敦子・川島 強・脇村隆生

＞ ご意見・ご質問：E-mail gikai@city.arida.lg.jp ☒

発行／有田市議会
編集／議会だより広報編集委員会
〒649-0392 和歌山県有田市長島五〇

TEL 0737・83・2443
FAX 0737・83・5524